段ボール遊びにおける幼児の思考力の芽生えを育む援助の工夫

一「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を基に環境構成をすることを通して一

広島市立矢賀幼稚園教諭 岩 井 美 江

研究の要約

本研究は、幼児の思考力の芽生えを育むために、幼児の思考力の芽生えを捉える視点を整理し、発達の姿を踏まえた援助や環境構成について探っていくことを目的としたものである。幼児が遊びの中で、考えたり、試したり、工夫したりするなどの姿が「思考力の芽生え」の姿であり、幼児期に育みたい力の一つである。そこで、幼児の思考力の芽生えの姿と、幼児の思考力の芽生えを育む環境構成について整理し、「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を作成し、これを基に段ボール遊びにおいて、実践、分析、考察を行った。

その結果、教師は、「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を活用することで、幼児の思考力の芽生えを育むための環境構成の視点が定まり、幼児の思考力の芽生えの姿に応じた援助を行うことができた。

キーワード:思考力の芽生え,環境構成,援助,

「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」

I 問題の所在

『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)』では、「学びの過程の重要性を踏まえ、具体的な活動の中で、比べる、関連付ける、総合するといった、思考の過程を示すなど、思考力の芽生えを育むようにする」¹⁾とし、幼児教育における、思考力の芽生えを育むことの重要性について示している。

また、『幼稚園教育要領』では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中の一つとして「思考力の芽生え」を示しており、このことは、幼児期から児童期につなげていく「学び」の基礎となる力に直接つながるものであると考える。

所属園において幼児は、自ら興味や関心をもち、遊びに関わることはできる。しかし、遊び方は教師に指示を求めたり、確認したりするなど教師主体の遊びが多く自分たちで遊びを考えたり、工夫したりする姿はこれまであまり見られなかった。

自身は、幼児の年齢や実態に合わせた環境を 構成し、環境を用意してきたが、幼児が遊びを 工夫したり、発展させたりするための環境(教 師の援助・場の設定・時間)が十分ではなかっ た。つまり、援助の際に自身が環境構成の視点 等を整理しきれていないこと、幼児の思考力の 芽生えの見取りが十分に整理しきれていない こと等により、自分たちで遊びを考えたり、工 夫したりする幼児の姿が見られなかったので はないかと考える。

そこで、本研究では、幼児の思考力の芽生え を育むために、幼児の思考力の芽生えの姿と、 幼児の思考力の芽生えを育むための環境構成 の視点について整理し、教師の援助の工夫につ いて研究することとした。

Ⅱ 研究の目的

幼児の思考力の芽生えを育むために,幼児の 思考力の芽生えの姿と,環境構成の視点を整理 した「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成の チェックリスト」を作成し,環境構成及び援助 の工夫を探ることを目的とする。

Ⅲ 研究の方法

- 1 研究主題に関する基礎的研究
- 2 研究仮説の設定及び検証の視点と方法
- 3 検証保育の計画と実施
- 4 保育実践の分析と考察

IV 研究の内容

1 研究主題に関する基礎的研究

(1) 思考力の芽生えについて

幼児の思考力の芽生えについて、『幼稚園教育要領』では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中で、幼稚園修了時の具体的な姿として「身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。」²と示している。

また、幼児の思考力の芽生えの発達の過程について、『幼児期から児童期への教育』では、「『なぜだろう』と思い対象とかかわる、いろいろに試す、確かめる、納得して自分の世界に取り入れるという行為の繰り返しの中で、幼児の世界は広がり、思考力が育つ」3と述べている。そ

の際、幼児は遊びの中で、「『あれ?へぇー』と 諸感覚を通して新たなことに気付き疑問をも ち、『こんなふうにしてみたい、あんなふうに なってみたい』という思いをもつ。そして、『○ ○かもしれない』『○○してみよう』とその幼 児なりに考え、試しかかわることで、『やっぱ りそうだった、〇〇だから〇〇なんだ』と分か り、満足感を得る。またうまくできない経験か ら、新たな思いが生まれ『もっとこうしてみよ う』と更に工夫し、自分の予想や発想を実現で きるように表現していく。(中略)物事への気 付きや思いをもち、そこから考え、試し、工夫 し様々な形で表現していく過程は、小学校以降 の学習の芽生え, すなわち自ら課題を探究し解 決していくことへの芽生えということができ る。」4と述べており、幼児は遊びを通して、様々 なものに出会い, 気付き, 考え, 試す等, 思考 力の芽生えの姿が育まれていくと考える。

このことから、幼児の思考力の芽生えの姿について次のように整理した。

- ・ 出会い・気付き (あれ?なあに?)
- 疑問・好奇心 (何かな?)
- ・ 意欲 (こんなふうにしたいな)
- ・ 考え・試す (きっとこうなるだろう)
- ・ 確認 (これでいいのかな?)
- 挫折の克服 (できなかった。もっとこう してみよう)
- 納得 (やっぱりそうだった!○○だから◆◆なんだ)
- 満足感 (わかった・できた)本研究における思考力の芽生えの姿とは、これら八つの姿とする。

(2) 環境構成について

幼稚園教育は、「環境を通して行う教育」が基本である。環境構成について、『幼稚園教育要領』(平成20年)では、「教師は、幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の行動の理解と予想に基づき、計画的に環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものとのかかわりが重要であることを踏まえ、物的・空間的環境を構成しなければならない」5)と示

している。このことを実践し、幼児が興味や関心をもって、環境と関わり、気付き、考え、試す等、思考力の芽生えを育むためには、環境構成の視点をより明確にしておく必要があると考えた。

岡上(2017)は、環境構成の視点について次のように述べている。物の特性や扱いやすさ、配置、提示のタイミングなど、「物的環境」に関すること。また、場所の安全性や慣れ親しんでいること、幼児が自ら遊び場を自由に選択できること、遊びの動線を考え場の配置や思う存分遊ぶことができる時間の確保など、「空間・場所・時間」に関すること。教師の援助や友達との関わりなど、「人的環境」に関すること。これらのことから、環境を構成する際には、大きく「物的環境」、「空間」、「人的環境」の三

大きく「物的環境」,「空間」,「人的環境」の三つの環境に分けることができると考えた。さらに,「空間」には「場所・時間」の視点も必要だと考え,各項目の詳細を表 1,表 2,表 3のように整理した。

表 1 環境構成の視点(物的環境)

		物的	環境		
		素材・	·用具		
1	2	3	4	5	6
安全な物	分かりやすく 分類し配置す る	選択できる種 類・個数			扱いやすくエ 夫しやすい

表2 環境構成の視点(空間・場所・時間)

			空間·場	听·睄			
		弈問·	峫			時	間
1	2	3	4	5	6	1	2
遊び場の 安全性	112	いつでも自分が遊 びに関わることがで きる	自由に 選択できる	遊びの動線	周りから 遊びが見える	思う存分遊べ る時間の確保	繰返し 試せる

表3 環境構成の視点(人的環境)

						人的環境						
					教師						友	Ė
1	2	3	4	5	6	1	8	9	10	11	1	2
齫	逝<0 動坊	棚0息を動 水糖	協	賦	気付かせ	別	遊旅 秘格	とパイ ディクなどの 提供	館物	光間接 つな?	信頼関係	友ださとのか かわり

幼児の思考力の芽生えの八つの姿と,表 1,表 2,表 3 の環境構成の視点を関連付けること

で、適切な援助ができると考え、最終頁に示す 資料1のように、「幼児の思考力の芽生えを育 む環境構成のチェックリスト」を作成した。そ の際、「思考力の芽生えの姿」をより詳細に見 取っていくために、予想される幼児の姿を示す 欄を設け、文献等を参考にして具体的な姿の例 を示した。また、各姿において重要だと予想さ れる環境構成の視点の欄に色付けをして、示す こととした。

これを基に環境構成を行うことで、適切な援助を行うことができ、幼児の思考力の芽生えの姿を育むことができると考える。

幼児の遊びは、一日のうちに様々に変わるため、一つの遊びに焦点を当て、幼児の思考力の 芽生えの姿に迫ることとした。

2 研究仮説の設定及び検証の視点と方法

(1) 研究仮説

段ボール遊びにおいて、幼児の思考力の芽生 えの姿と環境構成の視点を明らかにし、「幼児 の思考力の芽生えを育む環境構成のチェック リスト」を基に環境構成を行えば、幼児の思考 力の芽生えを育むことができるだろう。

(2) 検証の視点とその方法

検証の視点と方法については表4に示す。

表4 検証の視点と方法

	検証の視点	検証の方法
1	段ボール遊びにおいて、幼児の 思考力の芽生えを育むことがで きたか。	ビデオ分析により、幼児の遊びの 様子から思考力の芽生えの八つ の姿を見取り、分析する。
2	「幼児の思考力の芽生えを育む 環境構成のチェックリスト」を 基に環境を構成することは、幼 児の思考力の芽生えを育むため に有効だったか。	「幼児の思考力の芽生えを育む 環境構成のチェックリスト」の視 点と、思考力の芽生えの八つの姿 の関連性を「チェックリスト」に 書き込み、分析する。

3 検証保育の計画と実施

(1) 対象

幼稚園 5 歳児 23 名

(2) 期間

平成29年11月13日~11月17日

(3) 指導方法の工夫及び分析と考察の方法

ア 実態把握

5歳児23名の思考力の芽生えの姿について 実態把握を行ったところ, ほとんどの幼児は, 経験のある遊びや見たことがある遊びに対し て自分たちで繰り返し、遊びを展開していくこ とができていた。しかし、自分たちで、新たに 考えたり、工夫したりする幼児は5名程度であ った。多くの幼児は、初めての遊びに対して興 味はもつものの遊び始めるのに時間がかかっ たり、できないとすぐに諦めて、他の遊びを始 めたりする傾向があった。そこで、研究の焦点 を当てる遊びとして, 幼児一人一人が自分なり のイメージをもち、考えたり、工夫したりしな がら試行錯誤して遊ぶ楽しさを味わい、できた 満足感を味わうことができるような遊びであ る「段ボール遊び」を選んだ。段ボールは、様々 な大きさがあり、切ったり貼ったりしやすいな ど、幼児が扱いやすく作りたいものをイメージ しやすい素材である。また、所属園の幼児が今 までに経験したことがあり、親しみのある素材 として、適していると考える。

イ 環境構成の構想

実態把握を踏まえ,「幼児の思考力の芽生え を育む環境構成のチェックリスト」を基に,段 ボール遊びの環境を構想する。なお,環境構成 の視点と留意点については,表5に示す。

表5 幼児の思考力の芽生えを育む環境構成の視点と留意点

環	境	番号	環境構成の視点	留意点	
		1	安全公物	安全な素材や用具を選定する。初めて使う素材や用具は、使い方を知らせる。遊びの状況に応じて必要ないものは片付ける。	(素材)・段ボール・空き箱
		2	分かりやすく分類し配置する	・ 素材や用具に表示を付け、どこにあるか分かるように配置する。・ 自分で出し入れできるように見えやす、場所に配置する。	・空き容器 ・芯

物的環	素材	3	選択できる種類・個数	・ 幼別泊ら考え選択できるように、 素水用具の種類・個数を用意する。 ・ 遊りが状況 値が始・遊りが異雑さなる・種類の多さからイメージが得まにくい 曽 に応じて数さ種質の理能をする。	・ペットボトルの蓋 ・竹ひご 等 (用具)
境	用	4	慣視しんでも	・ 幼別安心して遊れまり組めるように、慣っ親しんでいる素材用具を用意する。	・セロテープ ・ガムテープ
	具	5	興味・関心をもっているもの	・ 幼問興料関心をもち、やってみないと思えるような見本を準備する。	・ガムケーク・ボンド
		6	扱やすくエ夫しやれい	・ 発養器 記げ、扱 やすく、使 ごがる 繋が用を準備する。	・両面アープ・はさみ・段ボールカッター 等
		1	遊》が場り安全性	 周りの遊びとの理解よどが十分に取れるような場所や望むが確定をする。 	場所
		2	慣視しなる	・ 幼別安心で語がきるように、日勤ら慣魄しんでき場所で行う。	遊戲室
空	空	3	いつでも自分がら遊れ関かる ことができる	・ 幼児自ら、遊園が外絡かりを決めることができる。 出入りが自由な場所なましてある こと。	
間	間・	4	自由は選択できる	・ 幼児のイメージが実現できるよう、場所で望む範囲を指定しない。	
場	場	5	遊びの動線	・ 幼児が放り工夫や思を実現できるようなスペースを確保する。	
所・時間	所	6	周りから遊労売える	 ・ 幼児・遊り動きを考慮し、動きか帯限分けな場所でする。 ・ 幼児・江東戦し合えたり、真以し合えたりできるよう、遊いで、名様が潤りから見えるようい・ 遊り様れずむじて、遊り発展しや小・はうい環境の再構成する。 ・ 作展デーナーなどを設す、達成を明すえる場合でする。 	
	時	1	思う存分遊~3時間7確保	・ 幼児遊ぶこ思う存みを含めておける。・ 幼児コは、片付かは開発事前へあらせ、時気の目ををもって遊ぶるようにする。	
	間	2	繰り返し試せる	・繰り返れて遊ぶしができる。時間や日にも辞画する。	
		1	信賴関係	・ 幼別自分出し安心にであるように、日頃から幼児との清明経築へ。	
		2	遊ぶの関か方	・ 幼児と緒は遊覧館は別楽しま中で、自分で考える楽しきや面白さを知らせる。	
		3	纵心思 を受けれ, 共感	 幼児が興味もったり、気付いたり発見したりしたこと等の思いを受け入れ共感することで、 幼児が譲かる意味を高める。 	
		4	応答	 ・ 遊ぶのイメールを内ちれるようで出た。	
		5	励まし	 幼む「やってみな」、思を実現できるような、励ます言葉事をする。 	
	教師	6	気付かせ	 幼児が遊びに興味がもてるように、見本や素材等があることを気付かせたり、援助をしたりする。 	
的環		7	見守り	 幼別泊分で考え、解失できるようい直くい答えを伝えるのではなく、幼児の思いを寄り 添い見守る。 	
境		8	遊坊を知らせる	・ 一緒ご遊びがら遊び方を知らせる。・ 幼児の思い対実現できるようご幼児と一緒ご素料や用具を知らせたり、気がいせたりする。	
		9	ヒントやアイディアなどの提供	・ 遊がイメー 分類既できるようい遊がヒントやアイディアを知らせる。	
		10	自信へのづめり	 「自分で考える」「考えると分かった」の経験ができたり、自信につながったりするような言葉掛せ行う。 幼別首誌もつで動できるように、思考している幼児の姿态数と言葉掛せ行う。 	
		11	子ども吐をづくべ	 教託(相間づか)、一緒ご遊ぶかり、幼児の思いを付守したりしながら、幼児可しの思いをつなげる。 	
		1	信賴関係	・安心で遊ぶしかできる仲の鬼、友勤近くにいる。	
	友達	2	友達とのかかわり	 ・ 五 い刺激し合える友勤が近くにいる。 ・ 作品の作り方を教な合ったり、認め合ったりする友勤がいる。 ・ 出来はがった作品を認め合ったり、喜いだりする友勤がいる。 	
	1		I .		

ウ環境構成

幼児の実態や, 思考力の芽生えの姿に応じ環 境の構成を行う。

エー分析

幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を基に、環境構成と幼児の思考

カの芽生えの八つの姿との関連性について分析を行う。

才 改善

幼児の実態から援助の改善を見いだし、イ、ウ、エ、オを保育期間(5日間)繰り返し実施し、幼児の思考力の芽生えの姿の変容を探る。

4 保育実践の分析と考察

(1) 段ボール遊びにおいて、幼児の思考力の芽生えを育むことができたか。

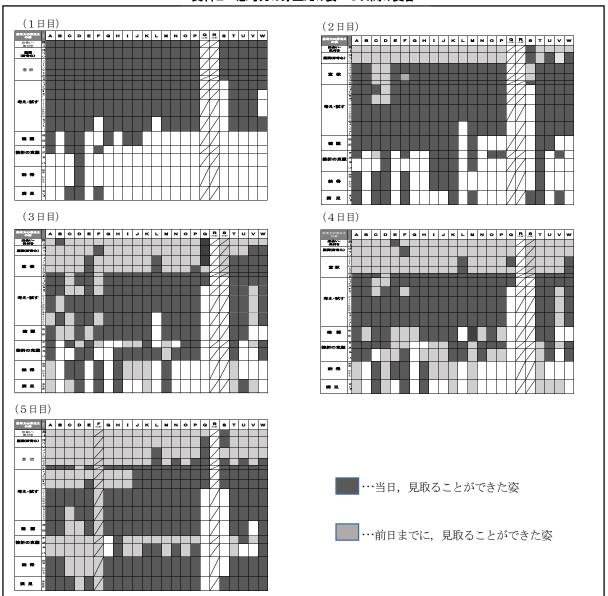
資料2に示すように、5日間の検証保育にお

いて、ほぼ全員の幼児に思考力の芽生えの姿が見られた。

また、幼児の思考力の芽生えの姿は、日ごとに八つの姿の表れ方に違いが見られた。段ボール遊びの初日には、出会い・気付き 疑問・好奇心 意欲 の姿が全員に見られた。また、遊びが進むにつれ、考え・試す 確認 挫折の克服 納得 満足 の姿が多く見られるようになった。

幼児の思考力の芽生えの姿は、八つの姿を行き来しており、思考力の芽生えの八つの姿が相 互に関連し合っていることがうかがえた。

資料2 思考力の芽生えの姿 5日間の変容



考察

遊びの日数の経過とともに、幼児の思考力の 芽生えの姿は変化していくことが明らかになった。同じ「段ボール遊び」であっても、毎日 同じ環境では、思考力の芽生えを育むことはできないため、教師は幼児の姿を適切に見取り、 状況に応じて適切に環境構成を行う必要がある。そのため、教師は、保育の際、幼児一人一 人の思考力の芽生えの姿を具体的にイメージ し、あらゆる姿を想定しておくことが重要である。

(2) 「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成の チェックリスト」を基に環境を構成すること は、幼児の思考力の芽生えを育むために有効 だったか。

環境構成と幼児の思考力の芽生えの八つの 姿の関連性について、幼児の段ボール遊びの様 子をビデオ記録から見取り、資料3に示すよう に、幼児の遊びの場面を書き出し、行動の順に 番号をつけて整理した。資料3に書き出した幼 児の行動が、幼児の思考力の芽生えの八つの姿 のどの部分を示しているかを見取り、7頁図1 のように,「幼児の思考力の芽生えを育む環境 構成のチェックリスト」の環境構成と関連のあ る視点の欄に行動番号を書き込み、分析と考察 を行った。このようにして、2名の幼児を抽出 し、詳しく分析することとした。D児は日頃か ら,自分で考えたり、工夫したりして遊ぶこと が少ない幼児である。しかし、検証保育におい て,物的環境によって,思いを実現するために 試行錯誤する等の、思考力の芽生えの姿が見ら れた。F児は日頃から、様々な遊びに興味をも ち積極的に関わっていく幼児である。検証保育 において、人的環境(教師)により、思考力の芽 生えの姿につながった幼児である。

幼児の思考力の芽生えの姿を7頁図1のように整理していくと、幼児の思考力の芽生えを育む環境構成において、環境の視点の「物的環境」では「安全な物」が、「空間・場所・時間」では「遊びの場の安全性」が、「人的環境」では「教師との信頼関係」が、全ての遊びの場面

において、常に関連があることが共通して見られた。

このことから、この三つの視点においては大きく関連性を示す場合を除いては、「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」への記入は省略することとした。

資料3 幼児の遊びの様子

検証保育	D児 家→ト	ンネル
D 児	教師	友 達
1日目 1 見本の段ボールの周りを歩く。出:物2 場 2 時刊 2 「段ボールで作りたい」と言う。出:人1・2・3・4 3 段 ボール①を持った。 ***	型 2 段 ボール を る え を ボース を で が ① す で を で が ② す で で を で が ② す で で が ② す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が が ② す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で が ③ す で で で が ③ す で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ス 段置らルて 段開く。 ー 場が持。 ー 。
I		

〈D児について〉

1日目の思考力の芽生えの姿は7頁図1に 示すとおりである。教師が見本として作った段 ボールのトンネルに興味をもち,自ら素材や用 具を手に取り、選んだ段ボールを開いて立たせようと繰り返し試した。具体的には、違う大きさの段ボールや、牛乳パック等を素材置き場から持って来て、段ボールの中に入れたり、横に置いたりするなどして自分なりに考えたり、友達の遊びの様子を見て真似たりしていた。そのうち、段ボールを立たせたまま固定しようとして、様々な種類のテープを比べながら、試す姿が見られた。立たせることはできたものの、直ぐにつぶれてしまっていたが、諦めずに何度も繰り返し行っていた。

2日目の思考力の芽生えの姿は8頁図2に示すとおりである。1日目の続きから、開いた段ボールを立たせようとして他の段ボールと組み合わせたり、テープで貼ったりしながら試行錯誤を繰り返していた。複数の段ボールを貼り合わせるために位置をずらす等、工夫し、イ

メージどおりにできたり、できなかったりを繰り返す姿が見られた。2日目からは、一人で試すのみではなく、教師や友達との関わりの中で、様々な考えを試す姿が見られた。行動の回数は減り、じっくりと考えたり、試したりする時間が増えた。しかし、完全に立たせることができず、次の日に持ち越すことになった。3日目も2日目と同様に黙々と段ボールを立たせ、トンネルを完成させることに熱中していた。

4日目の思考力の芽生えの姿は8頁図3に示すとおりである。友達と一緒に作り始め、大型積木で支えると良いことを知り、段ボールを立たせることができた。5日間トンネルの完成をめざし、試行錯誤しながら遊び、5日目には完成して自分のトンネルで遊び、満足感を得ることができた様子であった。

							付環境 ∤-用具						場所・空	間·時間		841							635	人的環境	ŧ					大連
	育ってほしい姿			1	2	3	4	5	6	1	2	3	- 空間	5	6	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2
	H 2 CIAGO S	ā	Acesti de	安全な物	分かりやすぐ 分類L配置 する	選択できる 種類・個数	情れ横しん	開味・関いている。	扱いやすく る 工夫しやす い	遊び帰の食 全性	使れ続しん でいる	いつでも自 分から遊び に関わるこ とができる	自由に選択 できる	遊びの勤齢	割りから遊 メが見える	思う存分差 べる時間の 確保	avalat avalat	保証契係	遊びへの間 わり方	幼児の思い の受け入 れ、共感	28	BEL	気付かせ	見守り	担び方を加 らせる	ヒントウアイ ディアなどの 提供	自保への ドラウン	250.8 #8834	2593	東連
出会い・気付き	〇 興味・関心をもつ。	S 11 S	- 遊びの場の方を見る - 対象に近付く		1						1					1		2	2	2	2									T
疑問(好奇心) 阿かな?」 どうやってできているのか !?」	O 好奇心をもってかかわろうとする。	0.85	- 興味をもって見る。 - 手に取る。 - 手に取る。 - 中に取って、作り方を見る。 - 教師や友達に疑問に思っていることを聞く。																											
意欲	○ 自分なりのイメージをもち、進んで遊	U=**	 自分の作りたいものを物師や本道に伝える。 自分のイメージする景材を手に取る。 素材を手に取り、制み合わせながらイメージする。 作りたいもののイメージをもち、作り始める。 				25	8+25	25-26							8								8-25					26])-26]	2 2
こんな風にしたいな」 作ってみたいな」	ぼうとする。	代別服装	 どんな材料があるのか自分で見たり、教師に関いたりする。 教師や友達と一緒に素材を探す。 																											
		18:38	遊ぼうとする。						-															4						+
		公司法》	 自分なりの予測を立ていろいろな素材を組み合わせて作る。 もっといい素材はないが、自分で考えたり、教師や友達に関いたりする。 		3-7-12	3-7-1	2	3	3				3		32					6				3-12						
		組合むか	 複数の素材を組み合わせて作る。 自分のイメージしたものに合わない場合、別の素材を考えたり、教師や 友達に関いたりする。 			54			54							9-54	9.54							5-9						
考え・試す きっとこうなだろう」 〇〇かもしれない」 〇〇してみよう」 〇〇すれば●●になるだろ ij	 イメージを実現させるために試行舗値する。 素材の材質や、形、大きさなどの違いに気付く。 	マルドロロニャル	遊びのイナージが広がり、いろいたな素材を組み合わせる。 ・翻動したことを思い出し、自かのイナージに合う材料を探し、試す。 ・個エしたりを選ぶしたいたが工夫して作る。 ・個エルキスを呼がび、作る。 乗材を切ったり、貼ったりしながこ、数を変え、自分のイメージに近づけ ようとする。		5-6 24-33 40-41	24	40-41-	18-33 34-39	24-33- 34-36- 37-40- 41-43- 47-55	5	5	5	5	47	47	27-28-29- 33-34-	17-18-21- 22-23-24- 27-28-29- 33-34- 38-37-40- 43-47-55		41-42- 51-55		42			5-15- 17-18- 21-22- 23-24- 27-28- 29-30- 34-37- 39	42-51	47-55	51			
		実施をおかかかり	・ 友達の作品を見ながら、異似て作る。 女達の作品を見ながら、自分の作品と比較する。 女達の作品から報謝を受け、作る。 女達の作品から報謝を受け、作る。 女達と相談しながら自分の作品と合体させたり、一種に作ったりする。		16-32	16+32			16						16		15							15-16					14·15 16·59	14
種認	 素材や用具の性質に気づく。 友達の作ったものや、見本と比べながら、自分なりのイメージを実現しようとする。 	20.00	・ 集材と特電方法が合っているか確認する。 ・ 支援の作っている様子を見る。 ・ 支援と作品を見合わせる。 ・ 依断や支達と作り方の確認をする。					45	45					32·45· 57	45-57	10	10							10						
		10.00	 黙ってうつむく できないと泣く。 教師や友達にできないことを相談する。 					30	30								11 · 13 · 19 · 30 · 44 · 53 · 58							13-19-3	0	44				Ī
挫折の克服 もっとこうしてみよう」	○ できないことや、思いの違いがあっても、膝めずに何とかしようとする。	15種	 友達の作品を見たり、作り方を聞いたりしながら、自分のイメージとの達 いを考える。 うまくてきず、作り直す。 別の素材を探し、彩を変える。 													35	35							11-35						
結得 「やっぱりそうだった」 「〇〇だから◆◆なんだ」 〇〇すると●●になる」	 ○ 素材や用具の性質に合う使い方ができる。 ○ 自分なりのイメージに合っていることを納得する。 ○ 分からなかったことや、できなかったことを解決する。 	報報・お台や	・素材の性質の違いが分かり、含った使い方ができる。 予期に含った使い方の、最内立て方ができる。 世界上がった作品を変で、前等する。					46-41	46-48					58	46-58	31•38· 39	31•38• 39							31-38					60	6
満足 わかったができた」 おもしろいう たのしい。 またやろう!」 もっとこうしてみよう」	 ○ 満足感、連成感を味わう。 ○ 今までの経験を生かしたり、新たな考えをもち、次の挑戦しようとする。 	08.99.36	・出来た事を、教師や京連に知らせる。 教師や京連に作り方を知らせる。 出来た権力で選ぶ。 単れいアイディブが浮かび、教師や京連に除す。 ・新しい支びをしようとする。													20	20	52	49	20-52			50				49·50· 52·56	50-56		50

図1 D児の思考力の芽生えの姿(1日目)

						環境						間•場 •場所	所·B	詩間	1 0	- (6)						人物師	、的環	境					či#
思考力の	· · · · ·	反	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4 48 HT	5	6	1	2	1	2	3	4	5	9X BID 6	7	8	9	10	11	1	2
芽生えの姿	育ってほしい姿	分	安全な物	分かりやすく分類し配置する	100 to +1.44		興味・関 心をもっ ている物			作り割	いつでも自 分から遊 びに関わ ることがで きる	自由に選		問りから 遊びが 見える	思う存分遊べる時		信頼	遊びへ の関わり 方	幼児の思 いの受け 入れ. 共感	応答	励まし	気付かせ			ヒントや アイディ アなどの 提供	自信へ	子ども同 士を つなぐ	信頼関係	友達とのかかわり
出会い・気付き	〇 興味・関心をもつ。	與味																											
樂間(好奇心)	○ 好奇心をもってかかわろうと する。	好奇心																											
意欲	O 自分なりのイメージをもち. 進んで遊ぼうとする。	イメージ 素材素な行動																											
		無材置び 組合わせ																											
考え・試す	○ イメージを実現させるために試行 錯誤する。○ 素材の材質や、形、大きさなどの 違いに気付く。	イメージの広がり		3-29		2·3·8· 15·17· 18·19· 20·22· 27·29		2·3·8· 17·18· 19·20· 22·27· 29					22	22	18-19-	2·3·8· 18·19· 22·27		4	14				17· 18· 19·22		23· 24·29	5	24		
		友達とのかかわり				26		26							25	25									26			25	25
確認	○ 素材や用具の性質に気付く。○ 友達の作ったものや、見本と 比べながら、自分なりのイメージを実現しようとする。	確認				1		1·12· 16							16	16			12				21						
		挫折				21		21							21	21													
挫折の克服	○ できないことや、思いの違いがあっても、諦めずに何とかしようとする。	克服				11	11	11															11						
約 得	○ 素材や用具の性質に合う使い方ができる。○ 自分なりのイメージに合っていることを納得する。○ 分からなかったことや、できなかったことを解決する。	納得 わかる				9• 10·13	9•10	9-10											6-13			8	10			13			
清足	○ 満足感.達成感を味わう。○ 今までの経験を生かしたり. 新たな考えをもち. 次の挑戦しようとする。	满足怒				28		28							28	28			28						28	28	28	28	28

図2 D児の思考力の芽生えの姿(2日目)

					物的	晋堷					空間	引•場)	所•時	問.								J	的環	堷					
思考力の					素材	·用具					空間	·場所				(ii)						教師			,				定達
芽生えの姿	育ってほしい姿	K 2	1 安全 な物	2 分かりや すく分類 し配置 する	3 選択でき る種類・ 個数	4 慣れ親し んでいる	5 興味・関 心をもっ ている物	6 扱いやす くエ夫し やすい	1 遊び場 の 安全性	2 慣れ親し んでいる	3 いつでも自 分から遊 びに関わ ることがで きる	4 自由に選 択 できる	5 遊びの 動線	6 周りから 遊びが 見える	1 思う存分 遊べる時 間の確 保	2 繰り返し 試せる	信頼 関係	2 遊びへ の 関わり方	3 幼児の思 いの受け 入れ. 共感	応答	5 励まし	6 気付 かせ	7 見守り	8 遊び方を 知らせる	9 ヒントや アイディ アなどの 提供	10 自信へ の つながり	11 子ども同 士を つなぐ	信頼 関係	2 友達との かかわり
出会い・ 気付き	〇 興味・関心をもつ。	與味																											
疑問 (好奇心)	○ 好奇心をもってかかわろうとする。	好奇心																											
意欲	 ○ 自分なりのイメージをもち、進んで 遊ぼうとする。 	イメージ 木付きで																											
		素材選び 組合わせ		4	4				4	4					4	4	4	4	4	4						4		4	4
考え・試す	○ イメージを実現させるために試行 錯誤する。○ 素材の材質や、形、大きさなどの 違いに気付く。	イメージの広がり		15	15	15	15	15							2	2							2		14				
		支責とのかかわり		1	1	1				1		1			1	1							1·2· 3						
	○ 素材や用具の性質に気付く。○ 友達の作ったものや、見本と比べながら、自分なりのイメージを実現しようとする。	確認												3	2	2										13			
挫折の克服	○ できないことや、思いの違いがあっても、膝めずに何とかしようとする。	推折克													11	11				-					10				
納得	 ○ 素材や用具の性質に合う使い方ができる。 ○ 自分なりのイメージに合っていることを納得するたことや、できなかったことや、できなかったことを検えする。 	得わ															5	5	5	5					12	5		9	5.9
	○ 満足感. 達成感を味わう。○ 今までの経験を生かしたり. 新たな考えをもち. 次の挑戦しようとする。	為足感															6·7·8· 9·10	6·7·8· 9·10	6·7·8· 9·10	6-7-8- 10						6 · 7 · 8 · 9 · 10 · 12			

図3 D児の思考力の芽生えの姿(4日目)

〈F児について〉

1日目の思考力の芽生えの姿は図4に示すとおりである。段ボールに関する物語の読み聞かせや見本の段ボールのトンネルをきっかけに、段ボール遊びに興味をもち、仲の良い友達と一緒に、共通の目的をもって基地を作り始めた。大きな段ボールを開き、組み立てることを楽しんでいた。その後、空き箱や空き容器等、様々な素材を手に取り、段ボールに組み合わせたり、貼り合わせたりするうちにイメージが広がり、基地作りがロケット作りに変わっていった。友達に自分の思いを伝えたり、相談したりしながら、ロケットを自分たちなりに完成させた。

3日目の思考力の芽生えの姿は 10 頁図 5 に示すとおりである。前日までに素材や用具の扱い方を経験していることもあり、段ボールのロケットに、他の素材を貼り合わせるためにはど

の接着剤が良いかを考えながら遊び、製作を楽 しむ姿が見られた。概ね、自分のイメージする 遊びができ、一旦満足感を得たが、その後、遊 びは発展せず、友達の遊びに転々と移っていっ た。

4日目の思考力の芽生えの姿は 10 頁図 6に示すとおりである。子どもたちだけでは、ロケット作りのイメージが広がりにくい様子が見られたため、教師が遊び仲間として関わり、F児の思いに共感したり、新しいアイディアやヒントを伝えたりした。F児は、教師からの言葉掛けや周りの友達の遊びの様子を見たり、相談したりしながら、さらに、ロケットのイメージを広げて遊んだ。また、遊びながら、段ボールカッターやガムテープ、ボンド等の扱い方が分かるようになると、イメージがさらに広がり、試行錯誤しながら自分のイメージするロケットを完成させ、満足感を得ていた様子であった。

		H				環境						間∙場	所∙₿	制									的環	境					
思考力の		H	1	2	素材	·用具 4	5	6	場所	2	空間	·場所 4	5	6	1	2	1	2	3	4	5	教師	7	8	9	10	11	カ 1	2 2
芽生えの姿	育ってほしい姿	5 -	_	タかりや すく分類 し 配置する	選択できる種類・		SE na . RE	扱いやす 〈工夫し やすい	207518		いつでも 自分から 遊びに関 わること ができる		遊びの	周りから 遊びが 見える	思う存分 遊べる時 間の確 保	繰り返し	信頼 関係	がへ の 関わり方	幼児の思 いの受け	応答	励まし	気付かせ	見守り		ピントや アイディ アなどの 提供	自信へ の つながり	子ども同	信頼関係	友達と
出会い・ 気付き	〇 興味・関心をもつ。	興味	1 • 3 • 4	3			1.3		1.3.4	1-3-4					1.3.4		4											4	4
疑問 (好奇心)	好奇心をもってかかわろうとする。	好奇心	6	5-6	5·6· 27	27	5-6-	27			5		6·20· 21	5·20· 21	5-6		5		5										2·17· 20·21 27
意欲	自分なりのイメージをもち、進んで	イ メ ー ジ			15		15								8	8	8-16	8-16	8-16										
AD 19A	遊ぼうとする。	表并强力行			7		7			7	7		7	7	7	7			<u>. </u>					_	<u> </u>				10
		*								-						<u> </u>													-
,		基び	25			25-26	18-25	25				11	11	11	11	11												12-13-	12-13-
		祖合わせ		23 - 28 -	13·22· 23·28· 29·30· 31	22·23· 28·29· 30·31	22·23· 29·30· 31	22·23· 28·29· 30·31	32	32			31	31	13·22· 30·31· 33	13·22· 30·31· 33												28-29-	28·29 30·31
考え・試す	○ イメージを実現させるために試行 錯誤する。○ 素材の材質や、形、大きさなどの 違いに気付く。	イメージの広がり		14 - 34 - 35	14 · 34 · 35	34 - 35 - 26	34	35-36				34	34	34	14-34	14-34	37	37	37		37			37	37	37		14-34	14-3
		MMINGSSSS																·											ر
	○ 素材や用具の性質に気付く○ 友達の作ったものや、見本と比べ ながら、自分なりのイメージを実現し ようとする。	確認																											
		挫折		18	18		18								19	19	19	19	19					19		19			
坐折の克服	○ できないことや、思いの違いがあっても、諦めずに何とかしようとする。	克服																											
納得	○ 素材や用具の性質に合う使い方ができる。○ 自分なりのイメージに合っていることを納得する。○ 分からなかったことや、できなかったことを解決する。	納得 わかる																											
	○ 満足感、達成感を味わう。○ 今までの経験を生かしたり、新たな考えをもち、次の挑戦しようとする。	満足感															24	24	24	24						24			

図4 F児の思考力の芽生えの姿(1日目)

					物的							間∙場	所・⊪	寺間									的環	境					
思考力の				-		·用具 4	_		1	_	空間	-場所	_	_	1	(B)			-	4	-	教師	7		-			友 1	達
芽生えの姿	育ってほしい姿	分	1 全な物		3 選択でき る種類・ 個数	4 慣れ親し んでいる	5 興味・関 心をもっ ている物	仮いやす く工夫し やすい	397615	2 慣れ親し んでいる	いつでも自分から遊	4 自由に選 択できる	5 遊びの 動線	6 周りから 遊びが 見える	思う存分遊べる時	2 繰り返し 試せる	信頼 関係	2 遊びへ の 関わり方	3 幼児の思 いの受け 入れ、 共感	応答	ち 励まし	6 気付 かせ		8 遊び方を 知らせる	9 ヒントや アイディ アなどの 提供	10 自信へ の つながり	11 子ども同 士を つなぐ	信頼関係	を 友達と かかわ
出会い・気付き	〇 興味・関心をもつ。	與味																											
疑問(好奇心)	好奇心をもってかかわろうとする。	好奇心																										2	2
意欲	O 自分なりのイメージをもち、進んで 遊ぼうとする。	余 村 選 订 行 m																											
考え・飲す	〇 イメージを実現させるために試行 機能する。 ・ 素材のお質や、形、大きさなどの 連いに気付く。	素材透び 組合わせ イメージの広がり ステルュロクックトクン		4	4	4·6· 7	4.6.	4-6-7		4.5	4.5	4.5	4.5		3.4.	3·4· 5		6.7	6-7-12-13			12· 13			5·6· 7	5·6· 7		5.6	5.6
確認	○ 素材や用具の性質に気付く。○ 友達の作ったものや、見本と比べながら、自分なりのイメージを実現しようとする。	確認															11		11							11	11	11	11
挫折の克服	○ できないことや、思いの違いがあっても、諦めずに何とかしようとする。	挫折克服																											
約 得	 ○ 素材や用具の性質に合う使い方ができる。 ○ 自分なりのイメージに合っていることを納得する。 ○ 分からなかったことや、できなかったことを解決する。 	わ				8-9		8-9										8	8	8			8		8	8			
満足	○ 満足感.達成感を味わう。 ○ 今までの経験を生かした り.新たな考えをもち.次の挑戦 しようとする。	満足感													1			10										10	1 · 10

図5 F児の思考力の芽生えの姿(3日目)

思考力の芽生えの姿			_		物的	環境			空間・場所・時間								人的環境												
	育ってほしい姿		素材·用具								·場所	時間					_			教師								友達	
		分	1 安全 な物	2 分かりや すく分類 し配置 する	3 選択でき る種類・ 個数	4 慣れ親し んでいる	5 興味・関 心をもっ ている物	6 扱いやす く工夫し やすい	1 遊び場 の安全 性	2 慣れ親し んでいる	3 いつでも自 分から遊 びに関わ ることがで きる	4 自由に選択できる	5 遊びの 動線	6 周りから 遊びが 見える	1 思う存分 遊べる時 間の確 保	2 繰り返し 試せる	信頼 関係	2 遊びへ の 関わり方	3 幼児の思 いの受け 入れ。 共感	北答	5 励まし	6 気付 かせ	7 見守り	8 遊び方を 知らせる	9 ヒントや アイディ アなどの 提供	10 自信へ の つながり	11 子ども同 士を つなぐ	信頼 関係	2 友達との かかわり
出会い ・気付き	〇 興味・関心をもつ。	與味																											
疑問 (好奇心)	好奇心をもってかかわろうとする。	好奇心																											2
意欲	O 自分なりのイメージをもち、進んで 遊ぼうとする。	イメージ																											
		がませた		7	7	7	7	7										7	7	7									
考え・試す	○ イメージを実現させるために試行 錯誤する。 ○ 素材の材質や、形、大きさなどの 遠いに気付く。	素材造び		8.9	8.9	8.9	8.9	8-9							9	8.9		8.9	8-9	8.9					8.9				
		組合わせ																											
		イメージの広がり		5•6• 15•23	5•6• 15•23	5·6· 14·15· 20·23· 25	21	5·6· 14·15· 17·20· 23·25	2	1.2	1.2	1.2	2			16•18• 25	3-5	3-5-6- 10-15- 16-18- 20-21- 24	15-20-	6-18			17	3·15· 24	3.5.6. 15.16. 18.20. 21.22	3-15	3·5· 6·15	1•2•4• 18	1·2·4· 18
		水道とのかかわり		13	10-13	10-13	10-13	10-13		10		10						13	13				12· 13·	13	13	10	12	10-12	10-12
確認	○ 素材や用具の性質に気付く。○ 友達の作ったものや、見本と比べながら、自分なりのイメージを実現しようとする。	確認																											
挫折の克服	○ できないことや、思いの違いがあっても、諦めずに何とかしようとする。	挫折克服																	14-15		15								
納得	 素材や用具の性質に合う使い方ができる。 自分なりのイメージに合っていることを構得する。 分からなかったことや、できなかったことを解決する。 	納得 わかる													26													18	18
満足	○ 満足感. 達成感を味わう。○ 今までの経験を生かしたり、新たな考えをもち、次の挑戦しようとする。	満足感		29	29	11 · 27 · 29		11·27· 29·34					30·31· 32·33	30·31· 32·33	27·30· 31·32· 33	27	30 - 31 -	27·28· 30·31· 32·33	30.31.	30·31· 32·33						11-19- 27-28- 30-31- 32-33- 34	11	11 · 19 · 34	11• 19•34

図6 F児の思考力の芽生えの姿(4日目)

図3~7から, 思考力の芽生えの八つの姿の中でも, 特に考え・試すの姿を示す際に, 環境構成との関連が高いことが分かった。日を重ね, 遊びが深まるとともにじっくりと長い時間取り組むため, 動きが減り, 行動番号も減っていった。また, 遊び始めの段階では, 見本や様々な素材・用具があること, 慣れ親しんでいるものがあること等, 「物的環境」からの影響が大きく, 考え・試す以降の姿では, 「時間」や「人的環境」の影響が大きいことが分かった。

考察

「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成チェックリスト」の環境構成の視点のうち,「安全な物」,「遊びの場の安全性」,「教師との信頼関係」は,幼児が遊ぶ際,常に必要であり,環境を構成する上で重要であると言える。

幼児は段ボール遊びの一日目では、多くの素 材や用具があることで、自分のイメージしたも のを作ることに満足感を得ていた。日数が進む につれ、他の素材を貼り合わせたり、組み合わ せたりするうちに、よりイメージが広がり、考 えたり、工夫したりする楽しさを味わい、自分 の思いが達成された満足感に変わっていった。 そして,素材や用具の性質に気付き,性質に合 う使い方を考える姿が見られるようになって きた。このことから、物的環境において、幼児 が安心して遊びに取り掛かりやすくするため に、 慣れ親しんだ素材や用具があることが有効 であり、考えたり、工夫したりするためには、 素材や用具の多様さや種類の豊富さが有効で あったと言える。段階的に素材や用具等の環境 を変えていくことが、新たな思考につながるも のと考えられる。

空間・場所・時間において、考え・試す以降の姿では、繰り返し試したり、思う存分遊んだりする時間の確保が有効であった。幼児の思考力の芽生えを育むためには、遊びが継続的に行われるように十分に時間を確保することが重要であると考えられる。

D児は、段ボールを立たせようとしたがなか

なか立たず、4日目に友達からアドバイスを受けるまでは試行錯誤を繰り返していた。F児は、自分のイメージをもって思いどおりに遊び、一旦、満足したものの新たなイメージの実現に向け、繰り返し遊んだ。教師は見守ったり、共感したりしながら、幼児の思いを受け止め、どんなイメージをもっているのか、どのようにしたいと思っているのか意図を酌み取りながら、幼児が自ら考えたり、工夫したり、ヒントを得ようとしたりしている姿を支えた。このことから人的環境である教師は、思考力の芽生えの姿を見取り、与えるだけではなく、見守り、待つことが重要であることが示唆された。

これらのことから,幼児の思考力の芽生えとは,八つの思考力の芽生えの姿が相互に関連し合うことで幼児の思考力の芽生えは育まれると考えられる。教師は指導計画を立てる際,幼児の思考力の芽生えの姿を見取り,実態に合わせた環境を構成するために「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」が有効であったと言える。

「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」の幼児の思考力の芽生えの八つの各姿において、特に重要だと予想する環境構成の視点の欄に色付けをして示したところ、幼児の思考力の芽生えの姿に概ね沿っていたが、幼児の発達段階や実態によっては、重要となる環境構成の視点に違いが見られる部分もあった。概ね5歳児の幼児に育ってほしい姿を想定して「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を作成したが、全ての幼児の思考力の芽生えを育むためには、あらゆる幼児の実態を考慮し、一人一人の具体的なイメージをもって、環境を構成していく必要がある。

V 研究のまとめ

1 成果

(1) 幼児の思考力の芽生えを育むことについ

て

「幼児が思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を基に、幼児に育ってほしい姿を具体的にイメージして環境を構成し、保育を行うことで、環境の再構成や援助に役立てることができた。また、環境構成の中でも特に「物的環境」の中では「選択できる種類・個数」が、「場所・空間・時間」の中では「十分な時間」が、「人的環境」の中では「教師の遊びへの関わり方」「友達との関わり」が重要性を示すことが分かった。

(2) 教師の適切な援助について

「物的環境」「空間・場所・時間」の二つの環境は、幼児の思考力の芽生えの姿や年齢に応じて事前に設定するものでる。しかし、「人的環境」である教師が幼児の姿を見取り、適切な援助を行うことや周りの幼児からの刺激を受けること等は、幼児の遊びのその場ですぐに対応する環境であることから、幼児の姿を見取り、適切に援助を行うことが求められる。「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」を活用することで、幼児一人一人の思考力の芽生えの姿を適切に見取ることができ、育てたい姿をイメージしながら、見守ったり、一緒に遊びながら遊び方を知らせたりするなど、幼児の実態に応じた適切な援助を行うことができた。

2 課題

「幼児が思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」に「幼児の予想される姿」を示したが、示したものの他にも、様々な思考力の芽生えの姿を見取ることができた。このことは、幼児の思考力の芽生えの姿は一つ一つが切り離されたものではなく、幼児の思考力の芽生えの八つの姿が相互に関連し合い、重なり合っているものであると考えられる。目に見えない思考力の芽生えを見取るためには、より確かなチェックリストとなるように、再考する必要がある。

また、個別の関わりが必要な幼児について思考力の芽生えの八つの姿が十分に見られなかったため、個の対応も含め、全ての幼児に対応できる「幼児の思考力の芽生えを育む環境構成のチェックリスト」に改善していきたい。

そして、教師間で環境を構成する際や環境と 幼児の思考力の芽生えの姿を見取る際に使え るものとなるよう、どの教師が見ても分かる 「環境構成のチェックリスト」に改善し、幼児 の全ての遊びにおいて活用し、幼児の思考力の 芽生えを育んでいくことに役立てたい。

引用文献

- 1) 文部科学省 中央教育審議会『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)』平成28年,79頁
- 2) 文部科学省『幼稚園教育要領』平成29年,5頁
- 3) 国立教育政策研究所教育課程研究センター『幼児期から児童期への教育』ひかりのくに株式会社, 平成17年, 110頁
- 4) 前掲書 3) 21頁
- 5) 文部科学省『幼稚園教育要領』平成20年,1頁

参考文献

- ① 榎沢良彦・入江礼子『保育内容 環境』建帛社,2013 年
- ② 岡上直子『あしたの保育が楽しくなる実践事例集 ワクワク!ドキドキ!が生まれる環境構成 3・4・5歳児の主体的・対話的で深い学び』ひかりのくに株式会社,2017年
- ③ 国立教育政策研究所教育課程研究センター『幼児期から児童期への教育』ひかりのくに株式会社、平成17年
- ④ 田尻由美子・無籐隆『保育内容 子どもと環境 基本 と実践事例 - 』同文書院、2012 年
- ⑤ 文部科学省『幼稚園教育要領』平成20年
- ⑥ 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館,平成20年
- ⑦ 文部科学省『幼稚園教育要領』平成29